

ジェットスターで行く 親子航空教室 in 成田空港を開催

航空科学博物館で成田航空少年団による紙飛行機教室を実施
飛行機・空港関連業務の舞台裏に興味津々！

ジェットスター・ジャパン株式会社(本社:千葉県成田市、代表取締役社長:片岡優)と松山空港利用促進協議会(事務局:愛媛県航空政策室)は、愛媛県の小学校高学年およびその保護者を対象とした「親子航空教室 in 成田空港」を開催しました。



愛媛県から親子航空教室に参加した親子 10 組 20 名の皆様と成田航空少年団
(撮影:2022 年 10 月 2 日、成田国際空港第 3 旅客ターミナル駐機場 松山行き GK405 便の前にて)

本航空教室は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で疎遠となった空の旅や航空業界とのつながりを再び活性化することを目的として、愛媛県では約 5 年ぶりに実施しました。愛媛県の親子を対象とした航空教室は通算 4 回目となり、今回は 4,000 組以上の応募の中から抽選で選ばれた 10 組 20 名の親子をご招待しました。

親子航空教室の 1 日目、航空教室としては初めて航空科学博物館でのアクティビティーを実施しました。成田空港の南側「スカイパークしばやま」エリアにある航空科学博物館は、日本最初の航空専門の博物館で実機を含む貴重な展示物や本格的なフライトシミュレーターがあり航空ファンの聖地ともいわれています。今回、同博物館の展望レストランで機内食風ランチを食べながら航空機の離着陸を見学したのちに、館内見学に加え、館内の体験館で博物館スタッフと成田航空少年団による紙飛行機教室を開催しました。

2 日目は、成田空港第 3 ターミナルにあるジェットスター・ジャパンのチェックインカウンターで、ジェットスター航空教室を実施。地上係員による業務内容の説明や LCC ならではのコスト削減方法などを紹介しました。その後、制限エリアに移動して手荷物・貨物のソーティングエリアで、チェックインカウンターで預けた手荷物がどのように機体へと運ばれるかを紹介。空港業務の裏側を初めて見る子供たちは、一つ一つの作業に目が釘付けとなっていました。

親子航空教室の最後に交流を深めた成田航空少年団の面々が機側までお見送りに駆けつけてくれました。「また来るね」「今度は松山で会おう！」と互いに声を掛け合い、1 泊 2 日の親子航空教室は無事終了となりました。

各日の活動内容

1 日目

航空科学博物館でより身近な航空業界を体験

松山空港から GK408 便で成田空港に到着後、日本最初の航空専門の博物館である航空科学博物館に到着しました。同博物館 4 階の展望レストラン「バルーン」から、成田空港の A 滑走路を間近に見ることができ、国内外の航空機がダイナミックに離着陸するシーンを見ながら、機内食風ランチを楽しみました。「あの飛行機初めて見る！どこの国から来たの？」と興味津々。展望デッキからは普段見る機会が少ない海外の航空機も離着陸することから「海外旅行に出かけた気分になった」と満足気。学芸員による航空機のリアルタイムの解説に、参加した親子から感心の声が何度も漏れていました。

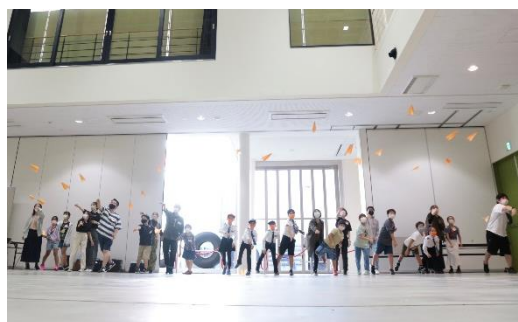


成田航空少年団との交流

展望レストランで昼食をとったあとは、同博物館の体験館で博物館スタッフと成田航空少年団による紙飛行機教室が行われました。ジェットスターでは、持続可能な未来のために SDGs の達成に向けて日々努力しており、路線網を活用した経済・生活・教育などを含む地域交流の活性化に取り組んでいます。このたびその一環として、初めて親子航空教室内で成田航空少年団との交流を行いました。交流会では紙飛行機教室を実施し、紙飛行機の耐空時間、飛距離を伸ばすための工夫につ



いて説明がありました。紙飛行機を折る参加者の目は真剣そのもの。「これほどまで丁寧に熱く紙飛行機と向き合ったのは初めて」と。親子で協力しながら作ったオレンジ色の紙飛行機が、体験館の宙をすうっと舞いました。



2 日目

ジェットスター航空教室

2022年4月に拡張された成田空港第3ターミナルのジェットスターチェックインカウンターで、LCCの強みである低運賃を実現するための工夫や現場での業務内容について地上係員が紹介しました。ジェットスターでは、空港でより快適な時間をお過ごしいただくために、チェックイン業務の「セルフサービス化」を推進しています。スマートフォンでの事前オンラインチェックインや自動手荷物預け機の利用がその取り組み例で、これにより空港での待ち時間の短縮や密集を回避することができ感染防止対策にもつながっています。今回の航空教室では、実際に自動チェックイン機および自動手荷物預け機を操作し、非接触で容易に搭乗手続きが可能な先端的モデルを体験しました。



また、ソーティングエリアでは、手荷物の荷捌き業務を説明しました。預けたお手荷物がどのように航空機に搭載されるのか業務の流れを紹介。普段は立ち入ることができない空港の舞台裏で行われている業務に参加者は興味津々。「預けた鞆はここに来るのか」、「荷物をコンテナに隙間なく積む作業はまるでパズルゲームのよう」、「一番重い荷物は何キロですか」と、次々と驚きの声や質問が飛び交いました。



親子航空教室の最後に、初日に交流会を実施した成田航空少年団の面々が機側まで駆けつけてくれました。「また来るね」「今度は松山で会おう！」と互いに声を掛け合い、機側での記念撮影

を楽しみました。成田航空少年団が、横断幕を持って、機体が見えなくなるまで駐機場で手を振ってお見送りしてくれました。



■実施概要

- タイトル： 親子航空教室 in 成田空港
- 日時： 2022年10月1日(土)～2日(日)
1日目：松山空港、成田国際空港、航空科学博物館
2日目：成田国際空港
- 対象： 愛媛県内の小学生4年生～6年生と保護者(10組20名) ※1組(保護者1人・お子様1人)
- 参加費： 無料
- 企画・主催： 松山空港利用促進協議会(事務局：愛媛県航空政策室)
ジェットスター・ジャパン株式会社
- 後援： 愛媛県PTA連合会、松山市小中学校PTA連合会
- ツアー主催： ジェットスターツアーズ運営 株式会社アーク・スリー・インターナショナル

【ジェットスター・ジャパンについて】

「日本の空、世界の空を、もっと身近に。」をビジョンとして掲げ、2012年7月より日本国内線、2015年2月からは国際線の運航を開始しました。現在、国内15都市・17路線を運航。就航から累積4000万人以上のお客様にご利用いただいています。ジェットスター・ジャパンには豪カンタスグループ、日本航空株式会社、東京センチュリー株式会社が出資しています。<https://www.jetstar.com/jp/ja/home>